第20号様式

第3号様式

現場代理人・主任技術者・監理技術者届

年　　月　　日

（あて先）羽島市長

請負者）　　（印）

このことについて、下記のとおり届出します。

市名 羽 島 市　事業課名 □□□□□□□□□□□□□□（課等の名称を記入する。）

1 工事名

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□（固有名詞にはフリガナを付ける。）

2 仕様書番号（この欄は発注者が記入します。）　（地建登録用の設計書番号）

2 1 - 2 0 9 - □□□□□□□□　□□□□□□□□□（この欄は発注者が記入します。）

県コード　所属コード　仕様書番号　　県・市コード　事務所コード　一連番号

発注年度　20□□年度

3 業種コード

□□（請負工事に対応した建設業法に基づく許可業種コードを記入する。）

例　01：土木工事業　02：建設工事業　09：管工事業　11：鋼構造物業　13：舗装工事業

4 工期

着工　20□□年□□月□□日　　完成　20□□年□□月□□日

5 契約金額

□□□□□□□□千円（千円未満は切り捨てる。）

6 請負業者名

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□（固有名詞にフリガナを付ける。）

7 請負業者の許可番号（請負業者に係わるもの。）（右詰めとし空欄は0を記入する。）

□ 1：大臣 2：知事　□ 1：特定 2：一般　許可番号 □□□□□□□□（上位2桁は建設業法に基づく許可の大臣・知事のコードを記入する。）

例　00：大臣　21：岐阜県知事　23：愛知県知事

---

8 技術者区分

□ 1：主任技術者　2：監理技術者　3：主任技術者・現場代理人兼任
4：監理技術者・現場代理人兼任

9 技術者氏名

□□□□□□□□□□（姓と名の間に1文字あけてフリガナをつける。）　現場代理人氏名 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□（フリガナを付ける。）

10 生年月日

大正 昭和 □□年□□月□□日

11 資格区分と合格番号（請負業種に関し複数の資格を取得のときは三つまで記入する。）

資格区分　　合格番号（番号以外の記号は省略し左詰めで記入する。）

(1) □□ － □□□□□□□□□□

(2) □□ － □□□□□□□□□□

(3) □□ － □□□□□□□□□□

資格区分は建設業法に基づく技術者の資格区分コードを記入する。
合格番号は合格証明書及び免状等の番号を記入する。
なお、実務経歴による資格者は合格番号の記入を要しない。

例　13：一級土木施行管理技士　14：二級土木施行管理技士
29：一級管工事施工管理技士　30：二級管工事施工管理技士
37：一級建築士　38：二級建築士

12 監理技術者資格証番号

□□□□□□□□□□（指定建設業監理技術者資格者証の交付番号を記入する。）
（技術者区分が、2又は4の場合は必ず記入する。）

13 技術者の従事機関（記入無しの場合工期と同じ）

20□□年□□月□□日から

20□□年□□月□□日まで

注）　1 技術者の資格を証する合格証明書、免状及び登録証の写しを添付すること。（発注者が認める場合は省略することができる。）
2 指定建設業の監理技術者は「指定建設業監理技術者資格者証」の表裏の写しを添付すること。（同上）
3 主な実務経験を記載した現場代理人及び技術者の経歴書を添付すること。